



## 平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社  
 コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151  
 定時株主総会開催予定日 平成29年12月21日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日  
 有価証券報告書提出予定日 平成29年12月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年9月期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	48,001	0.9	5,606	8.6	6,101	18.1	4,299	18.2
28年9月期	47,591	0.8	5,160	18.6	5,164	6.4	3,637	19.5

（注）包括利益 29年9月期 8,937百万円（413.9%） 28年9月期 1,739百万円（△71.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	101.35	101.19	5.1	5.8	11.7
28年9月期	85.74	85.67	4.6	5.1	10.8

（参考）持分法投資損益 29年9月期 一百万円 28年9月期 一百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	109,836	87,528	79.6	2,060.94
28年9月期	100,853	79,939	79.2	1,883.29

（参考）自己資本 29年9月期 87,438百万円 28年9月期 79,902百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	4,860	△9,456	△1,519	16,511
28年9月期	6,666	△3,131	△1,295	22,313

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	15.00	—	17.00	32.00	1,357	37.3	1.7
29年9月期	—	16.00	—	19.00	35.00	1,484	34.5	1.8
30年9月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00		34.4	

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,600	7.5	5,880	4.9	6,210	1.8	4,320	0.5	101.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期	42,708,154株	28年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	29年9月期	281,719株	28年9月期	281,269株
③ 期中平均株式数	29年9月期	42,426,645株	28年9月期	42,427,005株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、添付資料19ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年9月期の個別業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	36,572	△0.6	3,868	9.6	4,363	18.6	3,225	22.0
28年9月期	36,801	2.0	3,528	24.4	3,677	8.0	2,643	27.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期	76.03	75.91
28年9月期	62.30	62.25

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
29年9月期	99,553		79,636		79.9	1,874.91		
28年9月期	93,870		75,018		79.9	1,767.30		

(参考) 自己資本 29年9月期 79,545百万円 28年9月期 74,980百万円

2. 平成30年9月期の個別業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,100	4.2	4,190	8.3	4,570	4.7	3,310	2.6	78.02

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、日本銀行の金融政策や政府の経済対策を背景に雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、中国や新興国経済の減速、米国の政策動向、地政学的リスクの高まりや為替相場の変動等の影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度におきましては、売上高は48,001百万円（前連結会計年度比0.9%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前連結会計年度比0.6%の減収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前連結会計年度比3.0%の減収（現地通貨ベースでは同1.5%の増収）、T.HASEGAWA U.S.A., INC.が前連結会計年度比14.2%の増収（現地通貨ベースでは同14.8%の増収）、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd.が前連結会計年度並み（現地通貨ベースでは同5.4%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社の茶系飲料向けの売上が減少したものの、T.HASEGAWA U.S.A., INC.の売上が増加したこと及び新たに連結子会社となった米国のFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上が寄与したこと等を主因に前連結会計年度並みの41,288百万円となりました。

フレグランス部門は、当社のトイレットリー製品向けの売上が増加したこと等を主因に前連結会計年度比6.7%増加し、6,713百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上増及び売上原価の減少による売上総利益の増加を主因に前連結会計年度に比べ446百万円（8.6%）増加し、5,606百万円となりました。経常利益は営業利益の増加並びに為替差益の計上（前連結会計年度は為替差損を計上）を主因に前連結会計年度に比べ936百万円（18.1%）増加し、6,101百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比べ662百万円（18.2%）増加し、4,299百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （流動資産）

前連結会計年度に比べ、受取手形及び売掛金が1,580百万円、商品及び製品が339百万円、原材料及び貯蔵品が852百万円、その他に含まれる前渡金が853百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が534百万円、有価証券が4,999百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度に比べ1,638百万円減少し、48,694百万円となりました。

#### （固定資産）

有形固定資産は、マレーシアで新たに工場用地を取得するなどした結果、前連結会計年度に比べ934百万円増加し、31,245百万円となりました。

無形固定資産は、当連結会計年度において、当社の連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.がFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、のれん及び顧客関連資産を新たに計上したことを主因として、前連結会計年度に比べ5,663百万円増加し、7,809百万円となりました。

投資その他の資産は、株価の上昇により投資有価証券が増加したことを主因として、前連結会計年度に比べ4,022百万円増加し、22,086百万円となりました。

#### （流動負債）

前連結会計年度に比べ、賞与引当金が148百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が120百万円減少しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度に比べ79百万円増加し、10,534百万円となりました。

#### （固定負債）

前連結会計年度に比べ、株価が上昇したことなどにより、繰延税金負債が1,403百万円増加しました。これを主因として、固定負債は前連結会計年度に比べ1,313百万円増加し、11,772百万円となりました。

#### （純資産の部）

前連結会計年度に比べ、利益剰余金が2,899百万円、その他有価証券評価差額金が2,740百万円、為替換算調整勘定が1,835百万円それぞれ増加しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度に比べ7,589百万円増加し、87,528百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ5,802百万円減少(前連結会計年度は1,712百万円増加)し、16,511百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は4,860百万円(前連結会計年度は6,666百万円増加)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が6,137百万円、減価償却費が2,842百万円であった一方で、法人税等の支払額が1,642百万円、売上債権の増加額が1,114百万円、たな卸資産の増加額が948百万円であったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は9,456百万円(前連結会計年度は3,131百万円減少)となりました。これは主に子会社株式取得支出が6,160百万円、有形固定資産の取得が3,156百万円であったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,519百万円(前連結会計年度は1,295百万円減少)となりました。これは主に配当金の支払が1,399百万円であったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
自己資本比率	79.2 %	78.2 %	79.2 %	79.6 %
時価ベースの自己資本比率	75.6 %	64.8 %	78.3 %	83.3 %
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.4 %	2.6 %	1.8 %	0.2 %
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2,397.0 倍	604.1 倍	662.7 倍	1,147.4 倍

自己資本比率	:	自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率	:	株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	:	有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	:	キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。  
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の動向や為替相場が不安定であり、先行きが不透明な状況が続くことが見込まれます。

香料業界におきましても、各社のシェア獲得競争の一層の激化、品質保証に関する要求増加など厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、「技術立社」の社是のもと、研究・技術開発力の一層の向上により、特長のある差別化された製品開発を行う一方で、生産性の向上や業務全般の効率化によるコスト削減に努めてまいります。

また、少子高齢化に伴う成熟化が進行する国内市場でのシェア拡大に努める一方で、今後の当社の成長を追求するためには、グローバル展開を更に強化していくことが不可欠です。中国、東南アジアを中心としたアジア地域及び米国において、市場の成長性や消費者の嗜好の変化等を的確に捉え、各地域に合った事業戦略を立案・推進するとともに、将来の成長に向けた基盤強化のための投資や国内外での業務提携等の必要な施策を行い、海外市場での業績拡大を目指してまいります。

通期の連結売上高は51,600百万円（前連結会計年度比7.5%増）、営業利益は5,880百万円（前連結会計年度比4.9%増）、経常利益は6,210百万円（前連結会計年度比1.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,320百万円（前連結会計年度比0.5%増）を予定しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、グループ経営基盤のより一層の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様業績に応じた利益還元を図るため、連結ベースで配当性向35%程度を目途に中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

なお、当社は、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる」旨定款に定めており、剰余金の配当は取締役会を決定機関としております。

当事業年度の年間配当につきましては、1株当たり35円の配当（うち中間配当16円）を実施することを決定いたしました。この結果、当事業年度の連結ベースの配当性向は34.5%となりました。

内部留保資金につきましては、設備投資とグローバル化戦略の展開を図るための有効投資に使用してまいります。

なお、当事業年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）
平成29年5月12日取締役会決議	678	16
平成29年11月10日取締役会決議	806	19

次期の年間配当につきましては、1株当たり35円（うち中間配当17円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,336	10,802
受取手形及び売掛金	15,312	16,893
有価証券	10,999	5,999
商品及び製品	6,190	6,530
仕掛品	103	160
原材料及び貯蔵品	5,152	6,004
繰延税金資産	622	632
その他	619	1,681
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	50,333	48,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,278	38,159
減価償却累計額	△19,097	△20,205
建物及び構築物（純額）	17,180	17,953
機械装置及び運搬具	34,582	34,453
減価償却累計額	△29,949	△29,715
機械装置及び運搬具（純額）	4,633	4,737
工具、器具及び備品	6,035	6,561
減価償却累計額	△4,928	△5,329
工具、器具及び備品（純額）	1,106	1,232
土地	6,477	6,492
建設仮勘定	913	828
有形固定資産合計	30,311	31,245
無形固定資産		
のれん	1,066	3,885
顧客関連資産	—	3,033
その他	1,079	890
無形固定資産合計	2,145	7,809
投資その他の資産		
投資有価証券	17,270	21,202
繰延税金資産	25	24
退職給付に係る資産	2	18
その他	821	897
貸倒引当金	△56	△57
投資その他の資産合計	18,063	22,086
固定資産合計	50,520	61,141
資産合計	100,853	109,836



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,661	5,540
1年内返済予定の長期借入金	5	4
未払法人税等	737	839
賞与引当金	1,116	1,264
役員賞与引当金	58	67
その他	2,876	2,818
流動負債合計	10,455	10,534
固定負債		
長期借入金	116	4
繰延税金負債	2,608	4,012
退職給付に係る負債	6,590	6,631
資産除去債務	70	70
長期未払金	1,027	997
その他	46	56
固定負債合計	10,458	11,772
負債合計	20,914	22,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,292
利益剰余金	59,538	62,438
自己株式	△322	△323
株主資本合計	71,873	74,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,695	12,435
為替換算調整勘定	△1,367	468
退職給付に係る調整累計額	△299	△237
その他の包括利益累計額合計	8,028	12,665
新株予約権	37	90
純資産合計	79,939	87,528
負債純資産合計	100,853	109,836

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	47,591	48,001
売上原価	29,836	29,245
売上総利益	17,754	18,756
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	801	810
給料及び手当	5,203	5,338
賞与引当金繰入額	727	838
役員賞与引当金繰入額	58	67
退職給付費用	543	481
役員退職慰労引当金繰入額	16	—
福利厚生費	1,046	1,182
減価償却費	761	840
のれん償却額	143	208
その他	3,290	3,381
販売費及び一般管理費合計	12,594	13,149
営業利益	5,160	5,606
営業外収益		
受取利息	31	33
受取配当金	232	260
為替差益	—	173
その他	151	88
営業外収益合計	415	556
営業外費用		
支払利息	10	3
為替差損	338	—
設備賃貸費用	49	43
その他	13	14
営業外費用合計	411	62
経常利益	5,164	6,101
特別利益		
固定資産売却益	—	75
投資有価証券売却益	142	55
特別利益合計	142	131
特別損失		
減損損失	39	—
固定資産廃棄損	87	95
特別損失合計	127	95
税金等調整前当期純利益	5,179	6,137
法人税、住民税及び事業税	1,449	1,613
法人税等調整額	92	224
法人税等合計	1,542	1,837
当期純利益	3,637	4,299
親会社株主に帰属する当期純利益	3,637	4,299

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純利益	3,637	4,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,290	2,740
為替換算調整勘定	△3,184	1,835
退職給付に係る調整額	△4	61
その他の包括利益合計	△1,898	4,637
包括利益	1,739	8,937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,739	8,937
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成27年10月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,292	57,173	△321	69,509
当期変動額					
剰余金の配当			△1,272		△1,272
親会社株主に帰属する当期純利益			3,637		3,637
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,364	△0	2,364
当期末残高	5,364	7,292	59,538	△322	71,873

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,404	1,817	△295	9,926	—	79,436
当期変動額						
剰余金の配当						△1,272
親会社株主に帰属する当期純利益						3,637
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,290	△3,184	△4	△1,898	37	△1,860
当期変動額合計	1,290	△3,184	△4	△1,898	37	503
当期末残高	9,695	△1,367	△299	8,028	37	79,939

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,292	59,538	△322	71,873
当期変動額					
剰余金の配当			△1,400		△1,400
親会社株主に帰属する当期純利益			4,299		4,299
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	2,899	△0	2,898
当期末残高	5,364	7,292	62,438	△323	74,772

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,695	△1,367	△299	8,028	37	79,939
当期変動額						
剰余金の配当						△1,400
親会社株主に帰属する当期純利益						4,299
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,740	1,835	61	4,637	52	4,690
当期変動額合計	2,740	1,835	61	4,637	52	7,589
当期末残高	12,435	468	△237	12,665	90	87,528

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,179	6,137
減価償却費	2,937	2,842
減損損失	39	—
のれん償却額	143	208
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,066	—
長期未払金の増減額 (△は減少)	1,027	△29
株式報酬費用	37	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95	125
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	103	130
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3	△15
受取利息及び受取配当金	△263	△294
支払利息	10	3
為替差損益 (△は益)	235	△80
固定資産廃棄損	87	95
無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△75
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△142	△56
売上債権の増減額 (△は増加)	433	△1,114
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△512	△948
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40	△270
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△333	112
その他	13	△620
小計	8,006	6,213
利息及び配当金の受取額	263	292
利息の支払額	△10	△4
法人税等の支払額	△1,593	△1,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,666	4,860
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△289
定期預金の払戻による収入	69	33
有形固定資産の取得による支出	△3,318	△3,156
有形固定資産の売却による収入	89	4
有形固定資産の除却による支出	△59	△130
無形固定資産の取得による支出	△142	△64
無形固定資産の売却による収入	—	284
投資有価証券の取得による支出	△33	△30
投資有価証券の売却による収入	224	78
短期貸付けによる支出	—	△25
子会社株式の取得による支出	—	△6,160
差入保証金の回収による収入	135	—
資産除去債務の履行による支出	△75	—
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,131	△9,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△22	△118
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,272	△1,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,295	△1,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△527	314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,712	△5,802
現金及び現金同等物の期首残高	20,601	22,313
現金及び現金同等物の期末残高	22,313	16,511

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは各種香料を生産・販売しており、国内及び中国・マレーシア・米国以外の国外は当社が、中国、マレーシア、米国においてはそれぞれ現地法人が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、当社が作成したグローバル戦略に基づき、各地域における戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした各会社の所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。なお、当連結会計年度において、当社の子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC(所在地 米国 カリフォルニア州)の全株式を取得したため、報告セグメント「米国」に含めております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,321	7,900	3,369	47,591	—	47,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	479	413	354	1,248	△1,248	—
計	36,801	8,314	3,723	48,839	△1,248	47,591
セグメント利益	3,761	1,318	99	5,179	△14	5,164
セグメント資産	94,162	14,321	3,197	111,681	△10,827	100,853
その他の項目						
減価償却費	2,183	524	229	2,937	—	2,937
受取利息	43	27	0	70	△39	31
支払利息	0	36	14	51	△41	10
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,170	473	89	2,733	—	2,733

- (注) 1. セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益△5百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△8百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント資産の調整額△10,827百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△10,731百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△96百万円、その他0百万円であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,077	7,737	4,186	48,001	—	48,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	506	356	423	1,286	△1,286	—
計	36,583	8,094	4,609	49,288	△1,286	48,001
セグメント利益	4,430	1,367	278	6,076	24	6,101
セグメント資産	99,882	17,185	10,144	127,211	△17,375	109,836
その他の項目						
減価償却費	2,040	519	282	2,842	—	2,842
受取利息	21	32	0	53	△19	33
支払利息	0	8	14	23	△19	3
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,440	986	339	2,766	—	2,766

(注) 1. セグメント利益の調整額24百万円は、内部損益取引に係る調整額△1百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額25百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,375百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,303百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△72百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	6,290	41,300	47,591

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,630	11,538	3,192	229	47,591

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
21,918	6,542	1,850	—	30,311

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
森永乳業株	5,163	日本

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	6,713	41,288	48,001

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,372	11,316	3,937	374	48,001

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
21,314	7,768	2,162	—	31,245

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
森永乳業株	5,129	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
減損損失	39	—	—	—	39

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	143	—	—	143
当期末残高	—	1,066	—	—	1,066

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	135	72	—	208
当期末残高	—	1,023	2,862	—	3,885

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	
1株当たり純資産額	1,883円29銭	1株当たり純資産額	2,060円94銭
1株当たり当期純利益金額	85円74銭	1株当たり当期純利益金額	101円35銭
潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	85円67銭	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	101円19銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	3,637	4,299
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(百万円)	3,637	4,299
期中平均株式数(株)	42,427,005	42,426,645
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	33,250	65,017
(うち新株予約権(株))	(33,250)	(65,017)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。